

特集

# 日常を一変させた コロナ禍

～町民の暮らしは！ 町の対応は！～

中国の武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、またたくまに世界へ拡大し、パンデミック（世界的流行）の状況になった。

日本では1月に初の感染者が発生した。それ以来徐々に増え続け、緊急事態宣言が発令されてからは、全国で自粛要請によって経済・社会活動が停止状態となった。

そのため、町内でも各種イベントなどの中止が相次ぎ、宿泊業・飲食業をはじめ農業・水産

業などさまざまな業種、業者に打撃を与え、雇用や暮らしに影響が及んだ。それは小康状態にある現在も続いている。

自粛や休業の要請によって大幅減収や生活苦を強いられることになった住民に対して、国・県・町から経済支援や生活支援が行われている。

コロナ危機の経過、感染拡大の防止、行政の支援を振り返り、今後のことについても考察した。

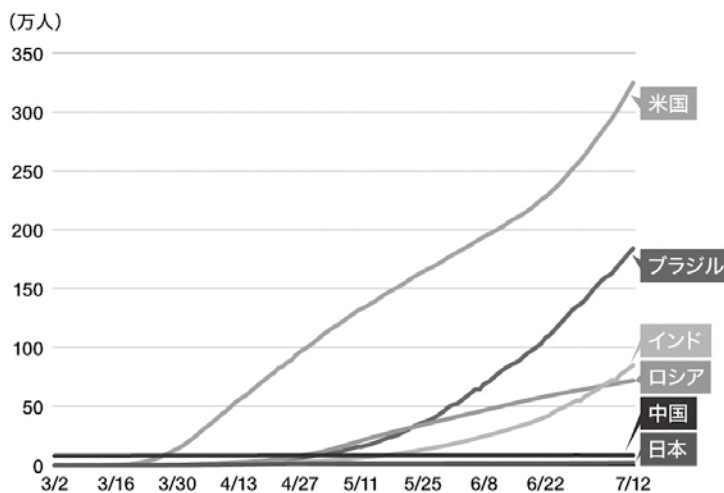
## 新型コロナウイルス 感染状況

世界でまん延中の新型コロナウイルス感染症はどのように拡大していったか。

### 《主な国の感染者状況》

日本の感染者数は、しばらく1〜2桁で推移していた。しかし、3月下旬から1000人を超え、4月11日には1日の感染者数が7000人超をピークに、4月は2000人以上の日が続いた。

各国の感染者数の推移



厚生労働省の公表資料を基に作成、WHOや各国の公表値とは異なる場合があります。nippon.com

出典 サイト名:nippon.com(最終閲覧日:2020年7月13日)  
<https://www.nippon.com/ja/japan-data/h00673/>

## 感染拡大の防止策

4月に感染者数が急増したため、「緊急事態宣言」が16日には全国に発令拡大された。これによって、県をまたぐ移動や営業の自粛が強まっていった。また、音楽や演劇などの文化活動、スポーツ競技がことごとく中止となった。

このような自粛が全国で行われたのは、感染を防ぐ有効な手段として、「3密」(密閉・

密集・密接)を避けることが強調されたためである。

感染防止として、マスクの着用や手洗い、手の消毒、うがいの徹底も強調された。

### ―町内への対応―

#### ◆役場◆

役場窓口には、飛沫感染を防ぐため、アクリル板が設置された。

不要不急なイベントや行事はしない。

会議は、できるだけ短縮し、人との距離を2倍空ける。

公民館・図書館、社会体育施設は閉館する。大山の駐車場は閉鎖した。

※緊急事態が解除された5月中旬には緩和されていた。



住民課の窓口